

<プレスリリース>

ペーパー「化石燃料増加と CO<sub>2</sub> 排出増に関する分析  
～省エネ効果で、燃料も CO<sub>2</sub> も増加せず～」を公表

2012 年 2 月 15 日

気候ネットワーク

気候ネットワークは、本日、「化石燃料増加と CO<sub>2</sub> 排出増に関する分析～省エネ効果で、燃料も CO<sub>2</sub> も増加せず～」と題する分析ペーパーを発表した。その結果、以下の通り、これまでのところ 2011 年度は、2010 年度と比べ、化石燃料も CO<sub>2</sub> も増加していないことが明らかになった。

主なポイントは以下の通り。

- ・日本全体の化石燃料輸入量は 2010 年度と 2011 年度と震災の前後ではほぼ同じであり、震災後も増加していない。原発の発電量の減少分の半分程度しか火力は増えていないことから、省エネ効果が表れていると言える。
- ・日本全体の CO<sub>2</sub> 排出量は、2010 年度より 2011 年度の方が減少している。省エネ対策が CO<sub>2</sub> 抑制にも効果を上げている。
- ・一方、2011 年度の化石燃料輸入単価が 2011 年度になって高騰、その結果、燃料は増えていないのに、化石燃料輸入総額は 2010 年度と比べ、3 兆円以上増加している。
- ・京都議定書の第 1 約束期間の目標は、余裕をもって達成できる見込みである。「化石燃料輸入の増加で CO<sub>2</sub> 排出増加」という説、「原発なしでは京都議定書の 6% 目標達成は困難」という説は、実態とは乖離している。

※分析ペーパーの本文は、下記よりダウンロードできます。(全 6 ページ)

URL : <http://www.kikonet.org/iken/kokusai/2012-02-15.html>

問合せ : 気候ネットワーク東京事務所

〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7 一番町村上ビル 6F

Tel. 03-3263-9210, FAX. 03-3263-9463、E-mail. [tokyo@kikonet.org](mailto:tokyo@kikonet.org)